



2016 年度私立大学図書館協会海外認定研修報告書

ALA 米国図書館研修

2016 年 8 月 30 日
明治大学 和泉図書館
櫻井 真理子

2016年6月21日から28日の間、米国の図書館を訪問しました。視察した図書館を中心に以下のとおりご報告致します。

I 研修概要

1. 研修テーマ

アメリカ図書館界の最先端で働くスタッフとの意見交換を通じて、先進的な図書館の取り組みを視察。また、多岐にわたるテーマを扱った ALA 年次総会に参加し、革新的なアイデアや戦略を学ぶ。

2. 訪問先



★Washington, D.C.

フリーア美術館図書館、ナショナル・ギャラリー図書館、ジョージタウン大学、米国議会図書館

★Orlando

ディズニーライブラリー、オレンジカウンティー公共図書館、ALA総会

3. 研修日程

- 6月21日 成田発⇒ワシントン D.C.着、ARLにてミーティング
6月22日 フリーア美術館図書館、ナショナル・ギャラリー図書館
6月23日 ジョージタウン大学、米国議会図書館
 <ワシントン D.C.からオーランドへ移動>
6月24日 ディズニーライブラリー、
6月25日 オレンジカウンティ図書館、ALA
6月26日 ALA総会セッション
6月27日 オーランド発⇒シカゴ経由にて成田へ
6月28日 成田着、解散

II 研修報告

各図書館の訪問順に報告致します。

1. スミソニアン・フリーア美術館図書館

スミソニアン協会が管理・運営をしているアジア美術館へ。吉村館長、Hogge 氏の歓迎を受け、2グループに分かれて、図書館およびアーカイブを見学した。



図書館にて



江戸時代の絵本

フリーア図書館は、アジアの芸術と文化の研究を促進・活性化することを目的とし、研究者やキュレーターの支援、コレクションの開発、学術・教育プロジェクトなどを行っている。約 90,000 冊あるコレクションの半数は、中国語や日本語で構成されている。集密書庫には、日本で開催された展示会の図録などを多くが保存されている。



アーカイブにてデジタル化された写真



写真1 サックラーのノート

アーカイブでは、アジア諸国に関心を抱いたサックラー氏のアジア関連の資料の保管、修復及びデジタル化が行っている。すべての資料のデジタル化と、一般公開を課題としている。コレクションの中には、手紙、ノート（写真1）や日用品のレシートなど当時の状況を知る、興味深い手掛かりがある。

本図書館も含まれるスミソニアン協会図書館では、21の図書館が互いに連携して、スミソニアン協会の研究やキュレーターを支援するうえで専門性を持った司書が重要な役割を担っている。地域へのアウトリーチについては、近隣の大学と共同で企画やワークショップを実施している。

2. National Gallery of Art Library

実業家メロン寄贈のコレクションを元に1941年に一般公開された国立美術館の附属図書館。ナショナル・ギャラリー（写真2）見学後、図書館へ移動。ロビーで概要説明を受け、ミーティング後、図書館の見学をした。

<概要>

設立	1941年、1979移転。
蔵書数	約48万冊
利用者資格	NGAのスタッフとインターン生、CASVAの研究員等
ミッション	ギャラリースタッフ・外部研究員の研究支援のため
Web ページ	http://library.nga.gov/



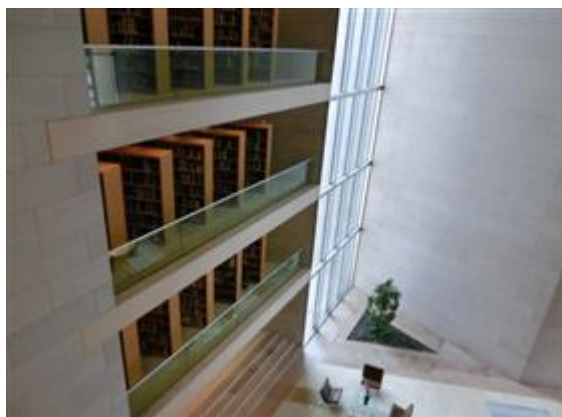
写真2 ナショナルギャラリー外観



ギャラリー内噴水広場

【感想】

このギャラリーは、まさに政府の資金と民間の資金提供のたまもので、貴重な美術品を無償で一般公開することは、大変意義のある事だと感じました。セキュリティは厳格で、館内では、ペーパーバッグの大きさ以上のバッグの持ち込みは禁止されています。美術館の企画で興味を持ったのが、写真投稿 SNS の「インスタグラム」を活用してお気に入りの一枚を投稿しようというものでした。美術館に来たことのない人々に対しても、興味を持ってもらうきっかけとなる斬新な企画だと思いました。



図書館エントランス



PCコーナー

インターンや学生アルバイトを含めて現在 44 名のスタッフがいる。貸出には、制限があるものの、ILLは受け付けており、年間約 6000 件の貸出実績がある。

3. ジョージタウン大学

(Joseph Mark Lauinger Memorial Library)

地下 3 階、地上 3 階建ての図書館を見学し、
スタッフとのミーティングを行った。



図書館エントランス



キャンパスマップ

<概要>

創立	1789 年
学校種別	私立総合大学（15 学部）
学生数	約 16000 名
Web ページ	http://www.georgetown.edu/

地下 1 階 “Woodstock Theological Library”



本図書館にある「Woodstock Theological Library」は、アメリカ最古の神学図書館。貸出資料は約 19 万冊。貴重書は、15-19 世紀のものが約 1 万 7500 冊所蔵されている。ジョージタウン大学で神学専攻の学生並びにワシントン神学コンソーシアムの研究者と学生が主な利用者である。同フロアには、中国語・日本語・韓国語研究に関する参考図書があるが、混配し開架への移動予定である。利用者に資料を「見せる」ことが大きな目的にある。

1 階 Gelardin New Media Center

編集室



2001 年に図書館 1 階部分を改築。利用者は、貸出されている一眼レフやプロ用ビデオカメラなど最新機器を使って、自由に作品を創造し、共有することが可能。常駐の司書が 1 名ほか、大学院生のサポーターが数名サービスカウンターにいる。

また、excel、wordpress、話し方など約 3500 の多彩なオンラインチュートリアル研修プログラムを提供する lydia.com が年間 \$ 350 のところ、ジョージタウン図書館では、無料でフルアクセスが可能となっている。

2 階 グループスタディーエリア

ライティング支援室



グループ学習エリアと個室が 5 部屋。いわゆる、ラーニングコモンズエリアに当たる。同フロアには、「MIDNIGHT MUG」という軽食や飲み物が購入できるカフェがある。軽食が許可されているのは、2 階のみ。カフェは、最長で深夜 2 時まで開店している。

3 階 エントランス



充電ボックス



3 階が図書館の入り口という珍しい構造であった。サービスカウンター並びにレファレンスと静かな閲覧スペースに分かれている。

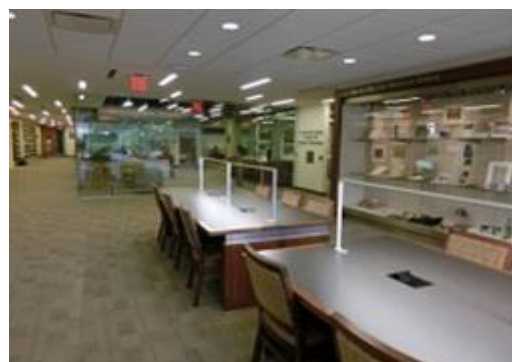
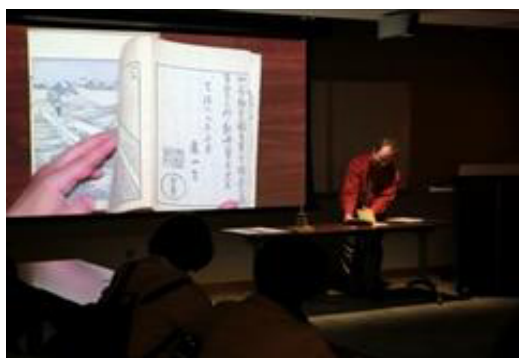
4 階 書庫



3D プリンター完備の部屋



5 階 Booth Family Center for Special Collections



最上階には、事務エリア並びに「Booth Family Center for Special Collections」というジョージタウン大学のコレクションアーカイブとなっている。

【感想】

特に印象に残ったのは、1階 **Geraldin Media Center** だ。常駐の司書の方に、「何故、図書館で最新のメディア機器を揃えているのか」伺ったところ、「学生の初めての体験を図書館でさせる」ということに意義があるという。メディアセンターに行けば、中々手に届かない高価な最新機器が使える。図書館に来ない学生が足を運ぶきっかけになり、図書館をより多くの学生に使ってもらうことに繋がっていると感じました。

4. アメリカ議会図書館

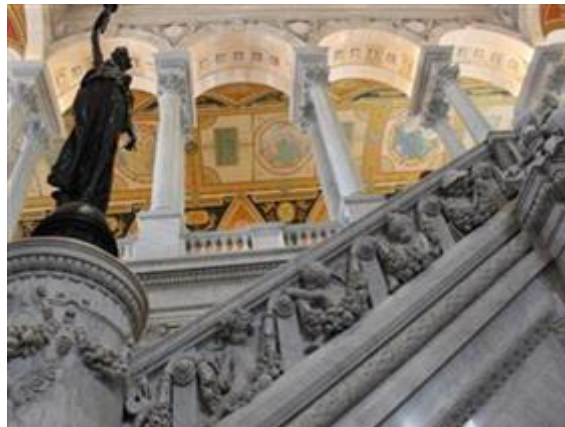
トマス・ジェファソン館を見学後、アジア部でミーティングを行った。その後、3つのテーマで議会図書館の取り組みについて、説明を聞いた。

<概要>

設立	1987 年
蔵書数	1 億 6 千万点（書籍、印刷物、音声資料、写真、楽譜、映画、原稿など）
スタッフ	約 3000 人
2014 年度来館者	145 万人
予算	約 6 億ドル



写真3 閲覧スペース



館内

主な閲覧室の21の専門閲覧室において研究支援が行われている。その他の活動としては、世界中の重要人物に関わる文書や貴重資料の保管、歴史や文化に関する展示、講演会の場の提供を行っている。館内は、学問・文学・知識・想像力・知的達成というテーマで装飾されている。



点字本



オーディオブックの機器

【感想】

万人に開かれた図書館として、視覚・聴覚障害を抱えている国内外の利用者に対しても資料の提供ができるよう、点字本(約 68,500 冊)はもちろん、“Digital Talking Books”やオーディオブック(約 150,000 冊)の拡充に努めているそうです。図書館に來れない利用者への自宅への無料郵送サービスも実施している。まさに「Reading is for everyone」を具現化する図書館でした。

5. Disney マーケティングリソースセンター

オーランド到着後、ライブラリースタッフの歓迎を受け、バックグラウンド見学、マーケティングを行った。



プレゼンテーションルーム



保存されている資料

6 人のチームから成り、それぞれメタデータの担当、キュレーターとして役割を果たしている。ディズニーの写真や映像を保管するのみならず、企画や製作を支援している。

【感想】

主な保存対象は、パンフレット、写真、ビデオ、会議資料でした。また、対象は社員に

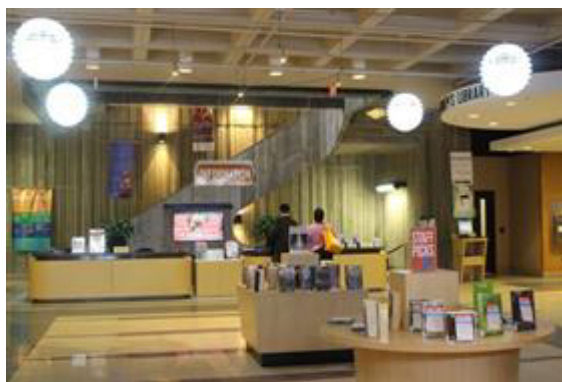
なりますが、図書館員が必要な情報を必要な人に提供していくという根本的な役割は同じであると感じました。共有サイトを使った資料提供に力を入れている印象。写真ではご紹介できないのが残ですが、社内のオフィス環境が理想的でした。

6. オーランド公共図書館

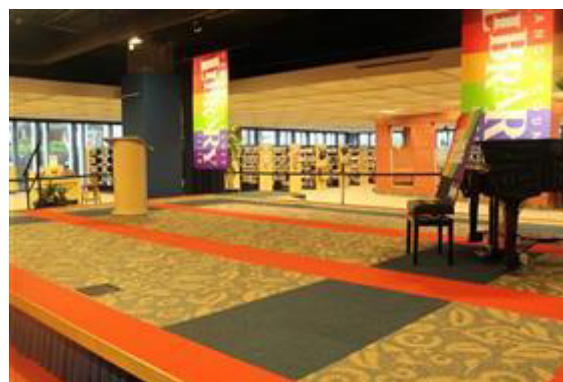
見学後のミーティングでは、多くの意見や質問が飛び交い、充実した訪問となった。

<概要>

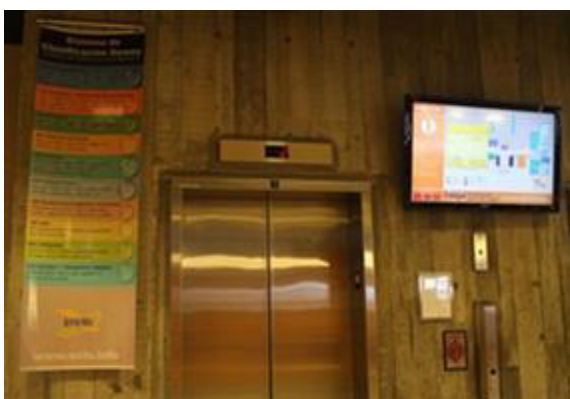
設立	1923 年（1990 年増築）
構成	中央館、オーランド図書館
蔵書数	170 万冊
入館者数	405 万 1000 人



エントランス



1F ステージ



エレベーター脇案内サイン



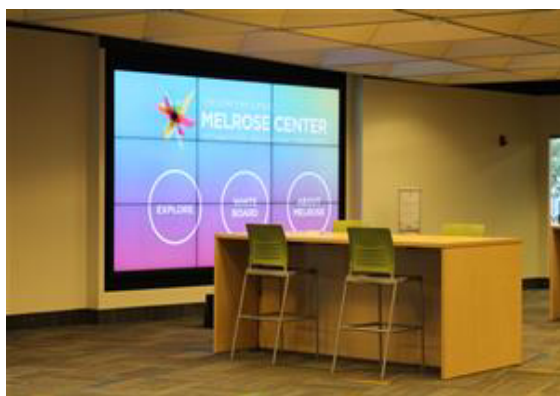
ブックストア



2F メルローズセンター入り口



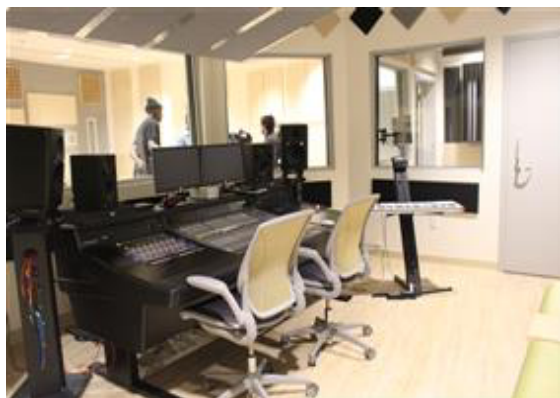
コモンズエリア



コモンズエリア電子黒板



サウンドブース



レコーディングスタジオ



写真スタジオ

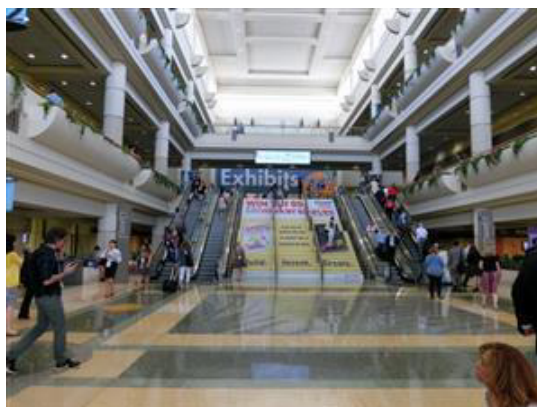
2階には、メルローズ財団からの寄付をもとに設立されたメディアセンター、通称メルローズ・センターがある。グループで利用できるメルローズコモンズや会議室、映像や音声などの編集スタジオ等多岐にわたる設備がある。利用者のアイディア共有の場として機能している。

オレンジカウンティ図書館では、利用者は図書館に足を運ばなくても、www.ocls.infoを通じて各種サービスを受けることができる。中でも、人気なサービスは、ホームデリバリーで、アマゾンよりも早く配達できるそう。他には、e-booksなどもオンライン閲覧が可能。

2階パソコンエリアでは、レベル別で年間約 2000 クラスのパソコン教室が開催されている。さらに生涯学習をテーマに 1 か月に 1000 以上のイベントやクラスが開催されていて、その様子はウェブサイトでも配信されている。

4階には、司書にマンツーマンで相談ができる“BOOK A PRO”などのサービスや障がい者専用の個室もあった。また、図書館内には、限定グッズを販売するギフトショップや、図書館友の会によるブックストアもある。収益は、図書館のイベント費用に充てられている。システムやネットワークが整備されていて、様々な形の学習を支える進化した図書館でした。

7. ALA 総会



ALA 総会は、6月23～28日にオーランドにて開催された。会場には、電子書籍にデータベース紹介、書籍の販売及びサイン会など多くのブースでにぎわっていた。

どのような企画をすると人が集まるかヒントを得るために「Design Thinking and Teaching Games」というセッションに参加した。3つの図書館での実践された成功事例の裏側を聞いた。戦争のゲーム大会を開催したりと一見、図書館の活動とは無関係に思えたが、戦争ゲームの時代背景を専門家を交えて学習することもセットになっていたりと工夫が凝らされていた。これを受け新たな企画に挑戦する意欲を持ち帰ることができた。

さいごに

大学職員として、様々な立場の 16 名の参加者並びに事務局の皆さまと臨んだ本研修は、大変貴重な経験となりました。現地の職員との交流会では、異なる視点からの意見や質問が飛び交い、多くの知見を得ることができました。

本研修を提供してくださった、丸善雄松堂様そして参加者のみなさま、研修への機会を提供してくださった私立大学図書館協会のみなさま、この場をお借りして、感謝を申し上げます。末筆になりますが、本研修に送り出してくださりました職場の皆さまにもお礼を申し上げます。

以 上